

よりよく生きる力を育む学習指導改善

～「X中三方よし」の実現に向けて～



根拠

昨年度までは、ICT(主にタブレット)の活用についての研究を深め、効果的な活用方法を研究主題とした。(しかし、生徒の学力の向上には、ICTの活用だけでなく、様々な観点からアプローチすることが大切だと考え、

- 『学力2023』をとりく研究することにした。
- ① 主体的な学力
 - ② 主体的な学力
 - ③ 主体的な学力
 - ④ 主体的な学力
 - ⑤ 主体的な学力
 - ⑥ 主体的な学力
 - ⑦ 主体的な学力
 - ⑧ 主体的な学力

〈教師の学び〉

『学び』複数の資料から必要なものを選別しながら思考する活動が、主体性を高めることに繋がると学んだ。

『悩み』生徒の主体性を高めるための具体的な手段や実践例を知らず、考えにくいことがあった。

〈授業の学び〉

WG(主体的な学力)で話し合うことで、教科・単元について「主体的な意識」が授業のつくりやすさや果敢に感じた。

2学期以降は、単元授業でルーブリックを先に示すことで、粘り強く取り組む必要がある課題を提示しやすくなることを計画している。

2学期からとんな変化があるのか

本校校が7月に「生徒の主体的な学び」をテーマにしたWG(主体的な学力)の活用が、生徒の主体性を高めることに繋がっていることがわかった。

『4-7会議』では、各学年で「主体的な学び」をテーマにしたWG(主体的な学力)の活用が、生徒の主体性を高めることに繋がっていることがわかった。

〈成果〉

交流・相談

自己分析

生徒分析

少人数のWG

具体例

学校教育目標

〈X中三方よし〉

自分(個性) 他人(豊かな人間性) 社会(学びの継続)

目指す児童生徒の姿

落着いて学習に取り組む姿

自ら学ぶ姿、自ら学ぶ姿勢や他者と学ぶ姿勢、学びを深めている姿、自ら学ぶ姿が見えにくく、その姿勢の育成。

4月7日 校内研(1)

5月10日 校内研(2)

6月21日 校内研(3)

7月31日 校内研(4)

① WGの編成

② 校内研の内容確認

① WGに分けて研究テーマの作成

② 学習状況アンケート

③ 強みと課題の把握

① T先生(総括)の研究授業 協議

② WGの公開授業

① WGの2学期以降の授業改善に向けて

② 1学期の学習状況アンケートの分析

③ 学力学習状況調査の分析

① 4-7の先生と一緒に取り組み!!

② 9月4日 WG4-7会議

③ 2学期の方向性の確認

④ 1学期の成果確認

『新担任教師の学びの等』をくして実現したい!!

① 目標: 強み・課題の再確認

② 指導案検討(本時)E GW 先生

③ 個々のニーズに合わせよう!!

④ 放課後や時間時間にWGで話し合う時間を確保しよう!!

〈課題〉

意欲

WGのテーマ

時間

主体的

交流

フィードバック

参観

本校の現状と課題

- ・落ち着いて学習に取り組む
- ・学力の姿勢(上記)が見えにくく
- ・学力が向上

『新担任教師の学びの等』

- ・校内研究アポイントで見通しを共有しよう!!
- ・授業アポイントを活用して自分の学びを振り返り上げよう!!

6月21日の内容の授業(T先生)は、多くの先生に見学して欲しい。時間割の調整をしよう!!

ある学校は、校内研究の運営に1/3(教職員)が携わっているのだから、WGの4-7会議とどう関係があるのか? 短時間で!!

2学期月は校内研-日常が自分ごととして話し合える時間を確保しよう!!

5月2日 プロジェクト研究会①

5月22日 プロジェクト研究会②

7月7日 プロジェクト研究会③

8月3日 プロジェクト研究会④

8月22日 プロジェクト研究会⑤



T先生

授業アポイント

2学期GW移行

T先生

4-7会議

WG4-7会議

9月中旬

9月4日

WG4-7会議



9月4日

WG4-7会議

9月中旬

WG4-7会議